様式１

北海道美唄尚栄高等学校の行動計画（グローカル・アグリハイスクール宣言）

全国の農業高校の行動計画		学校において平成２９年度に重点化する取組及び具体的方策		
「５つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
Ⅰ グローカル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	（1）農業技術検定の全員受験を実施し、食と農に関わる知識、理解を深めます。 （2）食品衛生責任者の講習を校内実施し、２年間で選択者全員取得を目指します。	A	（1）検定の校内実施を行い、「農業と環境」選択者全員が３級を受験でき、２級も受験できるような整備を行います。 （2）資格取得資金の積み立てを行い、選択者全員参加できるようにします。
	②「世界と日本をつなぐグローカル」教育を行います。	（1）授業をとおして世界の食材や規格について学習し、それを本校の食品製造に生かします。	B	（1）製品生産活動にＨＡＣＣＰの考え方を導入し、理解を深めます。
Ⅱ 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	（1）農業クラブ活動をとおして、地域農業の理解者、応援者を育成します。	A	（1）研究活動、販売活動、交流活動で地域の方々と交流する場を多く提供します。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	（1）地域学習をとおして、地域産業を理解、応援できる生徒の育成を行います。	A	（1）地域学習を深めるために、地域農業の視察研修を行います。 （2）インターンシップで地元企業での就労体験を行います。 （3）地域の行事に積極的に参加します。
Ⅲ 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	（1）環境に負荷をかけない、安全・安心な製品を製造します。	A	（1）分別の徹底、製造コストの把握、使用する添加物への理解をして、それを販売し説明することで安全・安心で環境へ負荷をかけない製造者を育成します。
	⑥「食農」教育を推進します。	（1）地域の食育活動に参加し、食の大切さを伝えることができる人材の育成に努めます。	A	（1）通年での稲作をとおした食育活動に、クラブ員全員参加する場を提供します。
Ⅳ 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	（1）地域の未利用資源の活用に取り組み、商品化を目指します。	A	（1）地域の未利用資源であるアスパラの規格外品や、羊乳などの有効活用に関わる研究に取り組みます。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	（1）実習施設を活用し、食をとおして交流の場をつくります。	A	（1）販売活動で掲示物を活用し情報発信能力を高めます。 （2）施設を活用した交流事業をとおして地元交流を行います。
	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	（1）プロジェクト学習、農業クラブの取組の中で、地域と連携し課題に取り組みます。	A	（1）北海道拓殖短期大学、峰延農業協同組合、西川農場との連携し、研究を行います。
Ⅴ 地域防災を推進する学校	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	（1）危険物取扱者の資格取得をとおして、防災に関わる知識を深めます。	A	（1）学校にある施設、消火栓、ボイラー、貯蔵タンク、消火器などを活用した授業を行います。